

令和2年度 社会福祉法人明 事業報告書

1. 事業の成果

指定から3年目となる生活介護事業について運営を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける面はあったが、感染防止対策を実施しながら概ね通常通りの事業運営を行った。

2. 役員等・評議員等の構成

理事	監事	評議員	評議員選任・解任委員
6名	2名	7名	3名

3. 理事会・評議員会等の開催

理事会	第55回	令和2年6月	令和元年度事業報告 令和元年度決算報告 社会福祉充実計画 評議員会招集事項
	第56回	令和3年3月	令和2年度補正予算 令和3年度事業計画 令和3年度予算 評議員会招集事項
評議員会	第47回	令和2年6月	令和元年度事業報告 令和元年度決算報告 社会福祉充実計画
	第48回	令和3年3月	令和2年度補正予算 令和3年度事業計画 令和3年度予算

4. 実施事業

事業所名	事業形態	定員
港つばみ作業所	生活介護（第二種社会福祉事業）	30名

5. 公益的取組

(1) なごや・よりどころサポート事業

名古屋市の「生活困窮者就労訓練事業」の認定を受けている。当該年度は就労体験及び中間的就労の受け入れはなかった。

(2) 地域の要支援者の生活支援

利用契約者の入退院時の支援として、入院中の病室訪問、医師・看護師等のカンファレンス参加、相談支援員との担当者会議実施を積極的に行い、状況の把握や必要な連絡調整した。また、自宅に引きこもりがちな利用者について、家庭訪問や連絡を継続して利用を促した。退所者においても連携を継続した。

(3) 地域活動への参加

当知小学校からの依頼を受け、無償でセミナーを開催した。生徒の親が参加する家庭教育セミナーで、ミシンを使用したマスク作成の講座を実施した。

令和2年度 港つぼみ作業所 事業報告書

1. 運営の成果

個別支援計画を策定し、生活の支援や相談、排せつ及び食事の等の日常生活介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供を行った。新型コロナウイルスの影響としては、日課としている内職作業の減少、行事の中止があげられるが、感染防止対策を講じながら概ね通常の営業を行った。

港区役所や基幹相談センター、医療機関、相談支援事業所並びにその他のサービス事業所など様々な機関と必要に応じて連携し、利用者心身の健康状態を把握するとともに、支援に必要な情報の共有や健康管理に努めた。

2. 事業所概要

事業所名	事業形態	定員／利用契約者
港つぼみ作業所	生活介護（平成30年4月1日指定）	30名／19名

3. 事業内容

就労支援事業では、新型コロナウイルスの影響により、断続的に受託作業の受注量が減少したり休止したりした。

行事等の活動は、感染防止の観点から

(1) 就労支援事業

ア. 受託作業：紙箱組立、割り箸封入、弁当箱シール貼り、ゴム部品バリ取り、ボール遊具洗浄（休止中）

イ. 製造販売：縫製品、ふきん、洗濯バサミ

ウ. 資源販売：廃電線等、アルミ缶等、古紙ダンボール等

(2) 行事・課外活動・その他の活動

ア. 地域生活：地域清掃

イ. 課外活動：給料取り組み、社会科見学、風俗習慣

ウ. その他：成人式

4. 利用状況

4月に1名、9月に2名の退所者があった。いずれも精神障害の方で、もともと利用があまりできていなかったが、気持ちが不安定で継続が困難になり、退所を希望された。9月に新規利用契約者があった。平均実利用者数は15.7となった。

5. 利用者の給料

利用者に日給制で工賃を月額支給した。半年ごと（9月と3月）に就労支援事業収入から必要経費を控除した額を個別の作業頻度に応じて賞与として支給した。新型コロナ

ウイルスの影響で売上げが減少したため賞与は例年に比べ減少したが、月給は維持して支給することができ、年間実績は月給 814,450 円、賞与 272,200 円で、平均月額工賃は 5,128 円となった。

6. 営業日

概ね年間計画に沿って営業し、平日と指定する土曜日で毎月暦日数－8日を原則として開所した。8月のみ暦の関係で暦日数－9日の開所となった。例年休日に行う港区ふれあい広場とバザーは年度当初予定していたが、中止となったため、営業日を入れ替えた。

7. 職員体制

年度内の採用、退職はなかった。

施設長（管理者）	常勤 兼務	1名
サービス管理責任者	常勤 兼務	1名
生活支援員	常勤 専従	3名
	非常勤 専従	5名
看護職員	非常勤 専従	1名
医師	嘱託医	1名

8. 資質向上

資質向上のため常勤職員が年度内に各1回以上参加することとしている外部研修について、新型コロナウイルス感染防止の観点からリモートでの講義を含め、集合研修と合わせて実施した。内部研修として、毎年振り返りをするよう行政から指導があった公益通報者保護に関する内容、利用者対応について、連絡や記録方法について、等の指導を行った。

9. 防災対策

（株）日立ビルシステムによる消防設備点検を年2回（5月・11月）実施。防火設備、防災設備及び備蓄飲食料の自主点検を年1回（8月）実施。消防計画に基づく避難・消火・通報の訓練を年2回（5月・12月）実施。避難場所や避難経路確認等の防災教育を年1回（9月）実施。南海トラフ地震防災対策計画及び避難確保計画に基づき、避難訓練を年1回（8月）実施。

10. 苦情受付・解決状況

苦情受付件数2件

受付年月	申出人	内容	経過及び結果
------	-----	----	--------

令和2年5月	家族	利用者のケガ	状況説明、謝罪、再発防止策掲示
令和2年10月	家族	家族への報告	状況説明、対応改善策掲示

11. 事故報告

事故報告件数4件

報告年月	内容	名古屋市への報告
令和2年5月	利用者のケガ	有
令和2年10月	利用者のケガ	無
令和2年11月	新型コロナウイルス濃厚接触者	有
令和3年3月	利用者のケガ	有

12. その他の報告

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、利用者の毎朝の検温、できる限りマスク着用、来所時や外出から戻った際の手指の消毒、職員の毎日の検温及び健康申告、換気、消毒（取っ手・ドアノブ・手すり・ボタン・スイッチ等）、昼食時の部屋分散、来客者のマスク着用及び手指消毒の徹底を行った。2月からは来客者に入退所記録簿の記入も徹底した。